

「サブバンド音響エコーキャンセラ用の所望エコー抑圧量の主観評価結果」

阪内澄宇、羽田陽一、牧野昭二、田中雅史、金田豊： 電子情報通信学会 英文論文誌 H12.12号

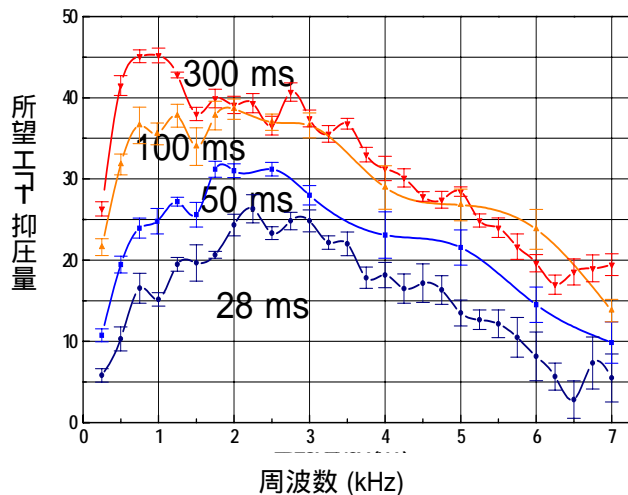
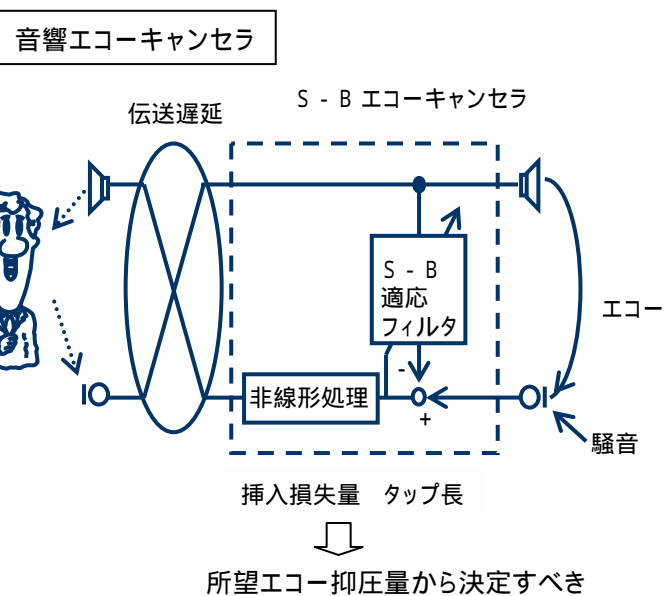


図1 所望エコー抑圧量の周波数特性

従来の所望エコー抑圧量算出の問題点

帯域一括の値しか明らかになっていない。
周波数分割処理の
高性能エコーキャンセラに対応不可。

結果1：
遅延時間によって、所望エコー抑圧量の周波数特性が異なることがわかった。

回線遅延特性によって、サブバンドごとの性能を変化してやる必要がある。

結果2：
マスキング現象に基づく結果の解釈。

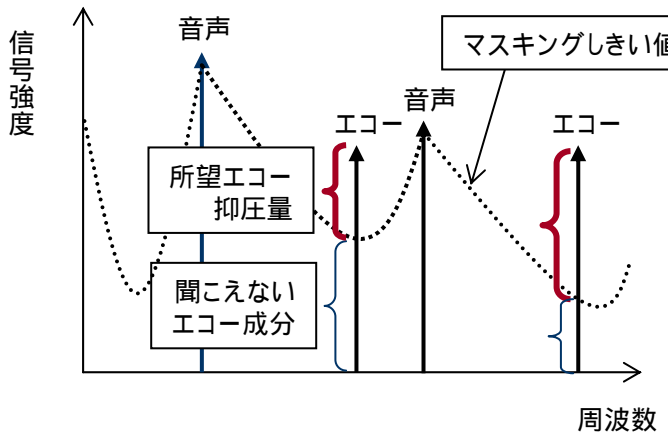


図2 マスキング現象による周波数特性の説明

効果

周波数ごとのエコー抑圧量にもとづく最適化により
エコーキャンセラの聴感上の性能向上 (5~10dB程度)